

2022年4月15日

九州防衛局長 伊藤哲也様



～豊かな森を次世代へ～

一般財団法人 日本熊森協会（実践自然保護団体）

（本部事務所）〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町1-4

Tel : 0798-22-4190 Fax : 0798-22-4196

Mail: contact@kumamori.org

会長 室谷 悠子（弁護士）

設立 1997年 会員 19000人

馬毛島基地化に関する要望書

ニホンジカの国内7亜種（エゾシカ、ホンシュウジカ、キュウシュウジカ、ツシマジカ、マゲシカ、ヤクシカ、ケラマジカ）は国内外に広く認知されたものであり、それなりの守られるべき対象となる根拠（地理的隔離、形態的特徴など）を持っています。

馬毛島の自然は、天敵も大雪もない島で、どのようにシカの生態系が保持されて来たか研究できる日本で唯一の貴重なフィールドです。2000年以降入島が禁止されたため、研究者による生態研究が途絶えたままです。

要望1 かけがえのない馬毛島の自然を残すことは、生物多様性条約を批准している我が国としての国際的な信用や評価にも関わる。マゲシカをアンブレラ種とする馬毛島の生物相・生態系を必ず守ってほしい。

（絶滅を防ぐには島の半分の面積が必要。特に、中央部の森林環境と水飲み場の保全が必須。工事に当たり、外来種が島に入らないように細心の注意を。）

要望2 1987年以来馬毛島の生態研究を続けてこられた立澤史郎先生らに、早急に入島許可を与えて調査研究を再開してもらい、防衛局の今後の基地づくりに助言してもらってほしい。

立澤 史郎 北海道大学 助教 serow@eis.hokudai.ac.jp 090-4873-4909